

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成24年度 第5回 川西市都市計画審議会専門委員会 (川西市都市計画マスタープラン検討委員会)		
事務局 (担当課)	都市整備部 まちづくり推進室 都市計画課		
開催期日	平成24年7月31日(火)		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員 (敬称略)	澤木・松村・岡・水野・山本(信)・駒井・山本(眞)	
	関係人		
	事務局	竹田・畑尾・萩倉・茨木・前田・堀内・八尾・池田・植村	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
会議次第	議 題  (1) 検討事項 都市計画マスタープラン検討案について(全編)		
会議結果	(1) 検討事項 別紙のとおり検討されました。		

## 第5回川西市都市計画マスタープラン検討委員会

日時：平成24年7月31日（火）19～21時

場所：川西市役所4F 庁議室

### 1. まちづくりの課題や目標について

まちづくりの課題の記載の仕方が、全て「～のまちづくり」という言葉で終わっていることに違和感がある。

「～のまちづくり」で終わると目標の印象をうける。課題と目標の相関図（P18）とあわせて、語尾の言い回しの検討を行った方が良い。

課題と目標が表現としてだぶっている印象があるので、少し表現を整理した方が良い。

○あわせて「歩いて暮らせるまちづくり」とあるが、具体的にどんな状態のまちなのか、その姿がイメージできるリード文があれば良い。

○交通至便な特性やストックが充足しているといった内容は良いところを伸ばすという趣旨だと思うので、「課題」というくくりで整理する際には注意が必要。

○社会潮流を踏まえた課題もあるので、その趣旨が分かるようにリード文を入れる。それを踏まえつつ、川西として重視していく方向性について、課題という形で整理をしているという流れとする。

### 2. 基本理念と課題・目標の関係性について

基本理念の「人、まち、自然を活かす」というのは良い。しかし、課題と目標のなかで、どう関連づけられているのかが分かりにくい。例えば、どの目標のために「人」を活かすのか。そういう表現をするのは難しいか。

P17の基本理念はすべての基本。P13～14の課題の部分がそれを意識して修正するというのはあるかもしれない。例えば、豊かな自然は放っておくと活かされずに失われていく。人については、地域活動を頑張っているが全市レベルに広がっていない。まちは、ストックはたくさんあるが、その維持・管理が今後、課題である。といった内容ではないか。

課題を「人、まち、自然」の分野できれいに整理するのは難しいし、それがうまく目標につながるのかは微妙な感じがする。例えば、資料5のイラストのA案を活かし、「活性化」等の文言を今回の4つの目標に置き換えるなど、イラストの活用の仕方に対応が可能かもしれない。

基本理念で「人、まち、自然」が出てくるのは、大前提としてそういうものが大切であるという理解で良いのだろうか。やや唐突な印象もある。

課題には、「問題があって、それは解決するという考え方」と「強みがあって、それをさらに活かすという考え方」の2つがあるので、それがもう少し明確になるような表現の工夫をしてもらいたい。目標の文章の最後に「川西」という言葉があるが、目標1の快適な暮らしを支える川西、には違和感がある。川西市が快適な暮らしを支えてくれるのか、という印象をうける。

### 3. 都市構造図等について

P25の図面は都市構造図とは言えないのではないかと。模式的なものに修正した方が良い。

基幹公共交通軸という文言はあるが、都市構造図には記載がない。ぜひとも入れて頂きたい。

交通に関する図面を作成して基幹公共交通軸を入れたら良いのではないかと。模式的な構造図を作成し、今の構造図を交通の方針図として加工してはどうか。

自然共生拠点がずいぶん大きい気がするので調整してほしい。

### 4. 機能集約型都市構造の考え方について

機能集約型都市構造へ...という記述があるが、本当にそういう方向性でいくのか。もし、そういう方

向でやらないのであれば言い切らない方が良い。

5. 「既存集落維持のための土地利用誘導」とは

P30の「既存集落維持のための土地利用誘導」の意味は何か？

市街化調整区域の集落が限界集落とならないよう、特例措置なども含む土地利用誘導を考えていくべきではないかという趣旨。

6. 景観について

○景観とは単に景色、風景なのか、それとも美しいという概念が入るのか。今の表現はやや曖昧な気がする。例えば、P39には「不快、醜い」景観という表現もある。

基本的には、それを見る人の意識が介在するので単に風景という考え方である。

7. 大規模ニュータウンに関する再生方策について

P27の中段あたりに「大規模ニュータウンについては～再生方策を検討する」とあるが、再生方策とは何か。

川西市ではニュータウンにおけるふるさと団地再生検討事業や調査を行っている。そのなかで、都市計画としては、地区計画のなかで敷地分割を認め、若者が入居しやすい環境を整える等の方策がありえると考えている。当然、都市計画だけではなく横断的な分野からのアプローチが必要ではあるが、都市計画MPに記載できる内容としてはそういうことかと考えている。

8. まちづくりの推進方策について

P69の「新たな公共～」「地域マネジメントによる～」といったタイトルが長い。「市民性」や「地域力」とか目新しいキーワードもあるので、そういう言葉を前面にだして分かりやすくインパクトがあるタイトルにしてほしい。

P71の地域づくりの推進イメージはなんとなく分かりにくい。STEPごとの表現などを工夫してもっと分かりやすくしてほしい。

最後のページのPDCAが具体的に何をどのように評価するのか。本当にするのであればある程度、明示しておく必要がある。

総合計画で実施している市民実態調査を利用して「満足度」をひとつの指標とすることなどを考えているが、まだはっきりとしていない。

PDCAで重要なのは、まずは「D0」の部分。それが始まらないとチェックはできない。PDCAを行うことが目的とならずに、いかにD0の部分を応援することができるかが重要である。

9. その他

地域別構想について、今は複数ページで構成されているが、今回資料2として添付されているように1枚もので作ってもらった方が見やすいし、分かりやすい。

○写真にはキャプションがあった方が良い。

図のタイトルは下じゃなく上に記載した方が良い。

概念図(P17)はP15のキャッチフレーズのそばに入れた方が良い。

P16の絵は必要ではないと思う。

資料5のイラストは本文中に使わず表紙や中表紙で利用するという方法もある。

P30の地区計画決定状況の表はあまり意味がないので、削除もしくはコラム的な扱いで検討してもらいたい。

地域別構想の図面は当該地域だけくりぬかれているが、もう少し周りをいれた形にしてほしい。